

## 働くことを身近に感じて 倶知安高校2年生が職業体験

倶知安高校が2年生を対象に、毎年実施しているインターンシップ。今年は8月1日(木)・2日(金)の二日間、町内外の13事業所で、参加を希望した42名の生徒が職場体験を行いました。

地方公務員志望の杉澤里乃さんは、倶知安町役場総合政策課の職員とともに『ニセコステイ交流パーティー』取材し、左の記事を作成するなど、主に広報に関わ

る仕事を体験。冬だけではなく夏にも観光客が多く訪れている現状を知り、町の魅力を再認識できたという杉澤さんは、「この町で観光に関わる仕事をしたい思いがより一層強まりました」と話しました。



▲インタビューする杉澤さん(左)

倶知安高校2年生杉澤里乃さんが取材し、記事を作成しました

### 長期滞在の観光客をおもてなし ニセコサマーステイ交流パーティー

8月1日(木)、『ニセコサマーステイ交流パーティー』が町内宿泊施設内のレストランで開催されました。これは、暑い夏を涼しい気候の中で過ごすために道外から訪れた長期滞在の観光客をおもてなしすることを目的に、(一社)倶知安観光協会が開催しているもので、今年約90名が参加しました。

文字町長が「豊かな自然に囲まれた倶知安での夏のひとときを楽しんでもらえたら」と歓迎の言葉を述べた後、参加者は食事を楽しみながら親睦を深めました。

会の途中で、参加者へのインタビューを交えつつ、数字の代わりに都道府県名や宿泊施設名などを用いたビンゴゲームを行うと、参加者同士の会話が増え、会場は楽しい雰囲気になりました。

子どもも参加した女性は、約1カ月間滞在するといいます。「自然を身近に感じられ、暮らしやすいところがこの地域の魅力です」と話していました。



▲ビンゴゲームを楽しむ長期滞在観光客

## 体験を通して地域の自然や歴史を学ぶ 寺子屋ミュージアム

倶知安風土館で、昨年度から始まった小中学生向けの体験型イベントの『寺子屋ミュージアム』は、座学や工作を通して、倶知安町の自然や歴史などへの理解を深めてもらうことを目的としています。

昨年度は、植物と動物の関係性を学び、どんぐりを使ったお菓子作りを行う講座など全5回の講座に、合わせて56名が参加しました。

今年度は、羊蹄山やじゃがいもなどをテーマに7月から全6回の講座が予定され、8月2日(金)の『めざせ！昆虫標本マスター①入門編』では参加した14名が、昆虫について学び、その標本作りを行いました。

講師を務めた同館の小田桐亮学芸員は参加者に「昆虫標本は、『いつ・誰が・どこで・何を』捕まえたのかをしっかりと残すことが重要です。そうすることで何十年、何百年後に他の人が標本を見た時でも、この地域にどのような昆虫がいたかがわかる資料になります」と話し、参加者は、この日のために講師が捕まえた多くの昆虫の中から好きなものを選び、標本作りを行いました。

今年度は残り2回の講座が行われ、9月14日(土)には、じゃがいもの歴史を学び、じゃがいもから片栗粉を作る講座が、10月19日(土)には、羊蹄山の地形や自然を学ぶ、石こうで羊蹄山のミニチュアを作る講座が行われます。

小田桐学芸員は「風土館という施設や、行っているイベントを多くの人に知ってもらいたい。ここでの活動を通して、子どもたちのやりたいことや興味の幅を広げます」と話します。今年度開催される残り2回の講座は、どちらもまだ参加できます。詳細は同館までお問い合わせください。

倶知安風土館 ☎ 22-6631



▲昆虫標本作りの様子(8月2日)

## 楽しく英語に触れる 夏休み

小中高英語連携事業の一環として毎年行う『イングリッシュシューマーカーキャンプ』。今年は8月6日(火)から7日(水)の二日間、総合体育館や町内樺山のコテージを会場に一泊の行程で実施され、小中学生合わせて24名が参加しました。

子どもたちは、班に分かれて英語を使ったさまざまな活動を行い、1日目の英語活動『リサイクルタワー』では、店での買い物を通して定したやり取りを繰り返す行うことで日常的な英会話を学びました。

期間中の進行は基本的に全て英語。子どもたちは初めて会う仲間とも協力しながら、一生懸命理解しようとし、積極的に英語を話そうとしていました。



▲「I want～」で材料を買い、工夫してそれらを高く積み『リサイクルタワー』

## 紅葉のひらふ春の滝を望む フットパスウォーキングを開催

地域の魅力ある資源の再認識などを目的に、フットパスウォーキングイベントを開催。ひらふーヒルトンニセコヴィレッジ間(春滝コース+弘法コース約4.1km)を歩きます。

- 日時/10月22日(火)9時受付、9時20分開会、11時30分豚汁交流会(随時解散)
- 集合場所/サン・スポーツランドくっちゃん
- 対象/小学生以上(小学3年生までは保護者同伴)
- 持ち物/防寒着や雨具など天候に合わせた服装、飲料などその他必要と思われるもの
- 参加費/1千円(食材、飲料、傷害保険)
- 申込/10月20日(日)までに「氏名・年齢・住所(形式自由)」をHP(<http://youteifootpass.jimdo.com>)またはFAX(22-6588)にて申し込み

☎ 090-7658-7836(石本)  
☎ 090-1522-0476(木村)



申込はこちら

## NEO羊蹄一周 ワンダーサイクリング

あの「ぐるっと羊蹄ワンダーサイクリング」が、今年、リニューアルしてトライアル版を開催します。

走った後は、みんなでジンギスカンを食べ、親交を深めます。

初秋の羊蹄ニセコエリアのサイクリングをお楽しみください。

- 日程/9月21日(土)
- 集合場所/ニセコ除雪ステーション(ニセコ町元町)
- コース/120kmコース(羊蹄山麓7町村制覇)
- 55kmコース(羊蹄山一周)
- 参加費/4千円(ゴール後の食事代含む)

※詳しくはこちらをご覧ください  
(<http://ameblo.jp/ynablog/>)  
entry-12499315319.html

☎ 55-5372



## 安全・安心のため10月1日から設置します 防犯カメラとドライブレコーダー

町では、犯罪の発生を防ぎ、安全・安心な暮らしを実現するため、防犯カメラを設置します。撮影した画像は、一定期間保存した後、すみやかに消去します。なお、法令に基づく照会や犯罪捜査などの場合を除き、画像を外部に提供することはありません。

**防犯カメラ** 駅前通り4台、「作動中」の表示あり  
※24時間撮影・録画(常時監視なし)

また、安全運転の徹底や事故・運行トラブルの原因分析などを目的に、まちなか循環バス「じゃがりん号」の各車両の前方と車内にドライブレコーダーを設置します。(9月下旬から試験運用)

**ドライブレコーダー** じゃがりん号車両前方および車内  
※運行時撮影・録画

☎ 防犯カメラに関すること  
住民環境課生活安全係 ☎ 56-8005

☎ ドライブレコーダーに関すること  
総合政策課企画振興室企画統計係 ☎ 56-8001





第57回くっちゃんじゃが祭り  
炎天下の中、約4万9千人が来場

8月3日(土)・4日(日)に駅前通りで開催され、今年も大盛況に終わった「くっちゃんじゃが祭り」。その模様を一部紹介します。



①じゃがいも詰め放題のジャンジャン取りは毎年おなじみ／②北海道経済産業局によるエネルギーサイエンスショー／③山車と人が夜のまちを彩ったじゃがねぶた／④会場にじゃが太くんが登場／⑤じゃが百人太鼓では鼓流が圧巻のパフォーマンスを／⑥GOGO イベントシリーズからじゃがキッズ・トライアスロン／⑦夕日を背に阿波踊り／⑧子どもたちに大人気のジャンボジャガ転がし！／⑨じゃが音楽パレード＆音楽祭には北海道札幌国際情報高等学校吹奏楽部が初参加。コルネットを吹くのは倶知安町出身清水小春さん／⑩ホクホクのじゃがいもを味わう／⑪PFC ダンスカンパニーによるパフォーマンス／⑫町無形民俗文化財に指定の赤坂奴

夏の各種イベントでG20の開催をPR  
温かいおもてなしの準備が着々と

7～8月、文字町長を会長としたG20観光大臣会合推進町民会議は、10月25日(金)・26日(土)に倶知安町で開催されるG20観光大臣会合を、さまざまな場面でイベント参加者などにPRしました。

倶知安駅で

開催まであと100日となった7月17日(水)は、倶知安高校の生徒がデザインしたカウントダウンボードをJR倶知安駅内に設置し、チラシを配布することで、駅を訪れる方々にPRしました。

倶知安町PR動画が完成

町内在住のオーストラリア人写真家アロン・ジャミアソン氏の手によって、町の自然や歴史などの魅力がたくさん詰まったPR動画が完成しました。この動画は、会合で放映される他、記念品として会合参加者への配布を予定しています。なお、この動画は町HPから見る事ができます。

G20観光大臣会合の開催まであと54日と迫りました(9月1日時点)。他にもさまざまなおもてなしの取り組みを進めます。

親子で一緒に  
楽しく料理

7月29日(月)に文化福祉センター調理室で、公民館講座『親子で楽しくクッキング』が元学校栄養教諭の小野幸子氏を講師に開催され、5組の小学生とその保護者が参加しました。

この講座は、子どもたちが留守番などで一人のときでも自分で料理し、食事に困らないように、包丁を使わずに炊飯器で作るスパゲティや、油と小麦粉を使用しない米粉のカップケーキなど、子どもでも簡単に作れる料理4品を調理し、試食しました。

子どもたちは調理中だけではなく、後片付けまで積極的に手伝っており、小野氏は「今日だけではなく、これからも子どもたちには料理の手伝いをする事で、たくさんのメニューを作れるようになってほしいです」と話しました。



▲カップケーキを作っている様子

トップレベルを体感し  
今後に生かす

7月31日(水)から8月6日(火)までの期間、女子ソフトボール1部リーグで活躍する太陽誘電女子ソフトボールチームがきたるくぐらウンドで合宿を行いました。

期間中の8月2日(金)には、同グラウンドでソフトボールクリニックが行われ、参加した町内外の中学生19名が、投手や野手などのポジション別に分かれて、キャッチボールやゴロを捕球する練習など、選手による指導を受けました。

クリニック終了後、同チームの佐野志津香コーチは「ソフトボールが上手になるには、楽しむ気持ちと向上心を持つことが大切です。今日の練習を今後も繰り返し行って、これからも頑張ってください」と参加者にエールを送りました。



▲ゴロを捕球する練習の様子